

日本分析化学会次期会長候補者
選挙結果について

日本分析化学会理事会

本会社員（代議員）による次期会長（2023～2024年度、任期2年）選挙の投票は12月5日に役員等候補者推薦委員会委員長の立会で開票が行われました。その結果、大谷 肇氏が最高得票を得て、次期会長予定者に選出されましたので、ご報告いたします。

大谷 肇（おおたにはじめ）先生 名古屋工業大学・教授
（本会役員・委員の経歴）

1990年度	中部支部幹事
1991～1992年度	中部支部常任幹事
1993～1994年度	中部支部幹事
1995～1996年度	中部支部常任幹事
1996～1999年度	高分子分析研究懇談会幹事委員
1997年度	中部支部幹事
1997～1998年度	第47年会実行委員
1999～2000年度	中部支部常任幹事
2000～2001年度	高分子分析研究懇談会幹事委員長
2001年度	役員等候補者選考委員会委員
2004～2005年度	第54年会実行委員
2005～2006年度	「Analytical Sciences」編集委員
2007～2008年度	第69回分析化学討論会実行委員
2008～2009年度	高分子分析研究懇談会運営委員長
2010年度	高分子分析研究懇談会副運営委員長
2010年度	中部支部常任幹事
2010～2011年度	ICAS2011組織委員会委員
2011年度	中部支部副支部長
2011～2012年度	第61年会実行委員
2012年度	中部支部次期支部長
2013年度	中部支部支部長
2013年度	役員等候補者推薦委員会委員
2013～2014年度	受託分析研究懇談会運営委員
2013～2022年度	高分子分析研究懇談会企画委員
2014～2015年度	中部支部監事
2015年度	学会功労賞・技術功績賞審査委員、先端分析技術賞審査委員
2015～2016年度	第76回分析化学討論会実行委員
2016年度	中部支部幹事
2016年度	学会功労賞・技術功績賞審査委員長、先端分析技術賞審査委員長
2018年度～現在	中部支部参与
2019～2010年度	第69年会実行委員長
2020～2022年度	副会長
2020～2021年度	第70年会実行委員
2020年度	学会賞等審査委員、女性Analyst賞審査委員
2021年度	学会賞等審査委員長、女性Analyst賞審査委員
2021～2022年度	第71年会実行委員
2022年度	女性Analyst賞審査委員
2022～2023年度	第83回分析化学討論会実行委員

公益社団法人日本分析化学会
第12回定時総会開催のお知らせ公益社団法人日本分析化学会
会長 早下隆士

公益社団法人日本分析化学会定款第17条に基づき、第12回定時総会を下記のとおり開催いたします。本会は代議員制を採用し、代議員をもって法律上の社員としていますので、代議員以外の会員の方々には議決権はありませんが、定時総会に出席して意見を述べることができます。今回はWeb会議方式で開催しますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、ご出席の場合は、E-mailにて、会員氏名、会員番号、連絡先（住所、E-mail）を明記のうえ、4月5日（水）までに下記問合せ先にお送りください。

第12回定時総会

期日 2023年4月26日（水）14時～16時
会場 Web会議（公益社団法人日本分析化学会会議室）
議案

1. 2022年度事業報告及び決算報告承認の件
2. 役員の一部辞任及び2023・2024年度役員選任承認の件
3. 定款の一部変更承認の件
4. 名誉会員推薦承認の件
5. 永年会員推薦承認の件
6. 2023年度事業計画及び収支予算報告の件

問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号（公社）日本分析化学会総務課〔E-mail：shomu@jsac.or.jp〕

日本分析化学会第72年会
オンライン講演申込スケジュール

日本分析化学会第72年会を以下のように開催します。本年会の講演申込及び講演要旨の入力は、Webからオンラインで申込者に行っていただきます。また、講演要旨集はWeb上での電子配布といたします。講演募集の要項は本誌5月号の「お知らせ」及び年会ホームページでお知らせします。年会および講演申込については、以下のスケジュールで予定しています。

記

年会期日 2023年9月13日（水）～15日（金）
年会会場 熊本城ホール〔熊本市中央区桜町3-40〕
懇親会 2023年9月14日（木）
懇親会会場 ラソールガーデン・熊本〔熊本市中央区桜町3-50 SAKURAMACHI HILLS 2F〕
講演申込・参加登録開始 4月26日（水）
講演申込締切 6月7日（水）
要旨本文締切 7月5日（水）
事前参加登録締切 8月30日（水）
参加登録費 予約：会員12,000円、学生会員4,000円、会員外21,000円、会員外学生7,000円〔当日：会員15,000円、学生会員6,000円、会員外24,000円、会員外学生8,000円〕
懇親会参加費 予約：一般10,000円、学生4,000円〔当日：一般12,000円、学生5,000円〕
日本分析化学会第72年会ホームページ（3月末開設予定）
<https://conference.jsac.jp/72nenkai/>

第381回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

環境分析では、LCよりもGCの方が多く活用されています。しかし、LCやLC/MSでの測定できる分析種の範囲は広く、これからもLCの活躍の場が増加する傾向にあります。また、公定法などの縛りがあり、環境分析の測定技術を広く捉える機会が少ないのではないのでしょうか。そこで、本例会では、高い所から環境分析という範囲を一度見渡してみようと企画しました。LC、LC/MSの基礎から応用、また関連する技術までバラエティーに富んだ内容でご講演いただきます。ぜひこの機会にご参加いただき、みなさまの活躍の一助となれば幸いです。

期日 2023年3月24日(金) 13.00~17.00

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 環境分析の展望~環境分析を見渡すと~
講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.10)

(ムラタ計測器サービス(株)) 大塚克弘

1. 環境分析における分離分析の精度管理 (13.10~13.40)
(ムラタ計測器サービス(株)) 大塚克弘
(LC分析士二段, LC/MS分析士三段)
 2. 環境分析のための固相抽出カラムの選び方・使い方 (13.40~14.10)
(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀
(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)
 3. PFAS分析に最適なカラム選択のポイント (14.10~14.40)
(Restek(株)) 海老原卓也 (LC分析士二段)
 4. QTOFを用いた環境汚染物質等のターゲットスクリーニング分析 (14.40~15.10)
(株)島津製作所) 渡邊 淳 (LC分析士初段)
- 休憩 (15.10~15.30)
5. 環境分析における機器分析ネットワークの活用 (15.30~16.00)
(栗田工業(株)) 榎本幹司
(LC分析士三段, LC/MS分析士三段)
 6. 環境分析におけるUHPLCの活用とSDGs (16.00~16.30)
(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹
(LC分析士四段, LC/MS分析士二段)
 7. 総括「環境分析の展望~環境分析を見渡すと~」 (16.30~17.00)
(東京理科大学) 中村 洋
(LC分析士五段, LC/MS分析士五段)

参加費 LC研究懇談会個人会員:1,000円、後援学会(日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会、日本農芸化学会)会員:3,000円、その他:4,000円、学生:1,000円。参加申込締切日後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します(会費1,000円)。締切日後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込及び参加費等納入締切日 2023年3月17日(金)(入金締切時刻:15時まで)

申込方法

1. 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC会員・協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。
2. お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス宛に「第381回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、世話人までお問い合わせください。
3. 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合、参加申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。なお、一旦納入された参

加費は、返金いたしません。

4. 参加費の納入が確認できた方には、2023年3月18日以降に①例会サイト入場URLと②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また、情報交換会参加費納入者には、③情報交換会サイト入場URLをお知らせいたします。なお、請求書と領収書の発行はいたしていません。領収書は、振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意 例会参加費、情報交換会参加費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/7xQYqQPMc47n6eky6>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341、口座名義:シャ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 ムラタ計測器サービス(株) 大塚克弘[E-mail: ohtsuka1209@murata-s.co.jp]

2023年度第1回近畿支部講演会

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部、近畿分析技術研究懇談会

期日 2023年4月7日(金) 15.00~17.00

会場 大阪科学技術センター7階700号室〔大阪市西区鞆本町1-8-4、電話:06-6443-5324、交通:地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、北へ徒歩約7分。うつぼ公園北詰〕

講演

1. 回顧:分離分析40年(15.00~16.00)
(京都大学) 大塚浩二
2. 化学分析のためのX線分光に関するアイデア(16.00~17.00)
(京都大学) 河合 潤

参加費 無料

参加申込 標記行事名を題記し、(1)氏名、(2)勤務先(所属)、(3)連絡先を記入のうえ、下記申込先へFAXまたはE-mailにてお申し込みください。なお、参加証は発行いたしませんので、当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 (公社)日本分析化学会近畿支部〔電話:06-6441-5531、FAX:06-6443-6685、E-mail:mail@bunkin.org〕

※新型コロナウイルスの影響により、延期やオンライン開催等に変更する可能性があります。変更などの詳細は、近畿支部ホームページ(<http://www.bunkin.org/>)にてご確認ください。

第7回マイクロ電子天びんセミナー(オンライン)

(初心者および中級者のためのはかり取り講習)

主催 有機微量分析研究懇談会

協賛 日本分析化学会関東支部、日本化学会関東支部、日本薬学会関東支部

マイクロ電子天びんのはかり取りならびに、試料の取扱いにつ

いての講義を行います。

マイクロ電子天びん技術研修会で使用するテキストとビデオを基に基礎から学べるセミナーを企画しました。

マイクロ電子天びんを業務で使用する人だけでなく、化学天びん等を使用する人にも基礎知識として参加していただきたい内容となっています。

期日 2023年5月19日(金)

講師

第一三共 RD ノバーレ(株) 佐々木典子

理化学研究所 CEMS 鈴木恵子

北里大学 長井賢一郎

京都大学 平野敏子, 坂田文恵

名城大学 酒井達子

板東敬子

プログラム

9.30~10.00 受付

10.00~10.05 開会

10.05~11.45 セミナー

11.45~11.55 質疑応答

11.55 閉会

参加費(事前登録のみ) 会員:2,000円, 非会員:3,000円, 学生:1,000円

募集人数 25名

参加申込 「第7回マイクロ電子天びんセミナー参加申込」と明記し、氏名・所属・住所・連絡先(TEL, FAX, E-mail)を明記し下記までお申し込みください。

申込締切 2023年5月8日(月)

申込・問合せ先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (国研) 理化学研究所 創発物性科学研究センター 物質評価支援チーム 鈴木恵子 [電話:048-467-9400, FAX:048-462-4631, E-mail:keikos@riken.jp]

第19回生涯分析談話会への誘い

生涯分析談話会はコロナ禍でしばらく開催できませんでした。が、昨年は日本分析化学会第71年会(岡山大学)の初日、本水昌二先生のお世話で久しぶりに全国の皆様と旧交を温めることができました。今年の1回目は第83回分析化学討論会(富山大学五福キャンパス)の前日、下記要領で開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。なお、講演会場等は決まり次第、お知らせいたします。

会長:中村 洋

日時 2023年5月19日(金)16時から

会場 決まり次第お知らせします

協賛 LC研究懇談会

講演

講師 早川和一先生(金沢大学名誉教授・環日本海域環境研究センター連携研究員)

題目 越境大気汚染研究一見えた先入観と現実

情報交換会

日時 18時から

会場 八兆屋・駅の蔵(富山駅ビル)

<https://www.ekinokura.jp/shop/toyama/>

会費 6,000円

申込先 幹事:田端正明[E-mail:tabatam@cc.saga-u.ac.jp]

問合せ先 現地世話人・鈴木保任[E-mail:y.suzuki@neptune.kanazawa-it.ac.jp]

2023年POTY賞受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会は、2023年POTY(Person of The Year)賞受賞候補者の推薦を受け付けております。POTY賞はLC研究懇談会の発展に大きく貢献した者に授与しますが(副賞1万円,年度1件以内)、CERIクロマトグラフィー分析賞並びに液体クロマトグラフィー努力賞の受賞者を授与の対象としません。推薦を希望される方は、下記2点に留意され、資料を電子ファイル(1ファイル)で提出してください。なお、受賞者にはLC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第7号)への投稿とともに、第29回LC&LC/MSテクノプラザ(2024年1月を予定)における受賞講演をお願いいたします。

1. 受賞者の年齢は問わないが、LC研究懇談会の会員である事が望ましい。
2. 推薦者(または自薦者)は、LC研究懇談会の個人会員とする。

提出資料 推薦者は、A4判サイズに横書きで記入した以下の①~③の資料を、8月末日までに下記提出先に電子メールで送付してください。①履歴書(生年月日,現住所,勤務先と連絡先,高校卒業以後の履歴を含む)、②推薦理由書、③貢献業績名(40字以内)及びその概要。

資料提出先 POTY賞係[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

2023年液体クロマトグラフィー 科学遺産候補の推薦

LC研究懇談会会員で、LC科学遺産候補の推薦を希望される方は、下記の規程(抜粋)およびLC研究懇談会ホームページを参照のうえ、8月末日までに推薦書類を提出先にお送りください。なお、認定が決定されたLC科学遺産については、LC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第7号)への投稿とともに、第29回LC&LC/MSテクノプラザ(2024年1月を予定)において申請内容の概要を講演していただきます。

- 第2条 「液体クロマトグラフィー科学遺産」とは、日本における液体クロマトグラフィー(LC)の発展にとって、歴史的な観点から顕著な貢献があったと認められるものを指す。
- 「液体クロマトグラフィー科学遺産」は、年度ごとに1件以内を認定する。
- 装置・器具類においては、その動作原理が日本初若しくはそれに準じたものである事、又はその性能が従来のものより格段に優れている事を要する。
- 技術・方法においては、従来のものより効率、再現性、操作性などが格段に優れている事を要する。

推薦書類 A4判スペースに横書きで記入した以下の書類(各1通)。①推薦理由書(会員番号明記)、②LC科学遺産候補の名称(40字以内)とその概要、③LC科学遺産所有者名、④その他、適当と思われる資料(1件)を提出してもよい。

提出先 LC科学遺産認定委員会[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

2023年度CERIクロマトグラフィー分析賞 受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会は、2023年度のCERIクロマトグラフィー分析賞受賞候補者の推薦を受け付けております。LC研究懇談会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程(抜粋)を参照のうえ、推薦書類提出先にお申し出ください。受賞者には、LC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第7号)への業績投稿とともに、第29回LC&LC/MSテクノプラザ(2024年1月を予定)での受賞講演を行っていただきます。

- 第1条 本賞は、LCを利用した研究分野で優秀な研究成果を挙げた者を対象に、年1件以内に授与する。
- 第3条 受賞者の資格に年齢は問わないが、LC研究懇談会の会員である事が望ましい。又、受賞者の研究成果は、既印刷のもので、少なくともその一部が公益社団法人日本分析化学会の機関誌若しくは学術刊行物に掲載されたものである事を要する。
- 第7条 賞の授与は、LC&LC/MSテクノプラザにおいて行う。受賞者には、賞牌及び賞金(10万円)を授与する。

提出書類 推薦者(会員番号明記)は、A4判サイズに横書きで記入した以下の4種類の書類(各1通)を8月末日までに下記提出先に電子メールで送付する。

- ①候補者の生年月日および高校卒業以後の履歴書、②推薦理由書、③研究業績名(40字以内)及びその概要、④研究業績リスト:表題、全著者名(受賞候補者にアンダーライン)、雑誌名、巻数、掲載ページ数、掲載年をこの順に記載したもの、⑤その他、適当と思われる資料(1件)を提出してもよい。

推薦書類提出先 CERIクロマトグラフィー分析賞係 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2024年液体クロマトグラフィー努力賞 候補者推薦について

本賞は液体クロマトグラフィーに関する研究・技術が独創的であり、将来を期待される研究者・技術者が受賞の対象となります。適当な候補者がおられましたら、下記要領にてご推薦またはご応募ください。受賞者にはLC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第7号)への業績投稿とともに、第29回LC&LC/MSテクノプラザ(2024年1月を予定)における受賞講演を行っていただきます。不明な点は下記にお問い合わせください。

受賞資格 液体クロマトグラフィー研究懇談会の個人会員(会員番号明記)で、2024年4月1日現在で満50歳程度まで。

提出資料 ①推薦書または自薦書(A4判スペース1枚に生年月日、簡単な履歴、受賞の対象となる研究題目)、②推薦または応募理由書(A4判を縦に使用し、1行45字、40行程度で業績説明と主要論文リストを合わせて3枚以内)、③説明資料1件(任意。特に重要な論文の別刷PDF、その他審査の参考となる資料等)を下記応募先に電子メールで添付。

推薦・応募締切 8月末日

応募・問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC懇 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

——以下の各件は本会が共催・協賛・ 後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

コロイド先端技術講座 2022 ～ソフトマターの「液液」相分離～

主催 (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 2023年3月16日(木)

会場 日本大学理工学部駿河台校舎タワー・スコラ
ホームページ

<https://colloid.csj.jp/202301/2022hitech/>

連絡先 (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会
[E-mail: jigyoukikaku_02@colloid.csj.jp]

表面科学セミナー 2023 (実践編) マテリアルインフォマティクスの基礎と 情報科学を用いた実験データ解析

共催 日本表面真空学会データ駆動表面科学研究部会、東京理科大学 MI懇談会

期日 2023年3月20日(月)

会場 大田区産業プラザ Pio + オンライン

ホームページ <http://www.jvss.jp/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル
5階 (公社)日本表面真空学会 [電話: 03-3812-0266,
FAX: 03-3812-2897, E-mail: office@jvss.jp]

電子機器トータルソリューション展 2023

主催 (一社)日本電子回路工業会

期日 2023年5月31日(水)～6月2日(金)

会場 東京ビッグサイト東展示棟

ホームページ

<https://www.jpccashow.com/show2023/>

連絡先 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝
三井ビルディング (株)JTBコミュニケーションデザイン内
JPCA 運営事務局 [電話: 03-5657-0767, E-mail: jpcashow@
jtbcom.co.jp]

日本顕微鏡学会第79回学術講演会

主催 (公社)日本顕微鏡学会

期日 2023年6月26日(月)～28日(水)

会場 くにびきメッセ

ホームページ <https://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2023/index.html>

連絡先 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデ
ミーセンター 日本顕微鏡学会学術講演会ヘルプデスク
[FAX: 03-5227-8632, E-mail: jsm-desk@conf.bunken.
co.jp]

第 33 回環境工学総合シンポジウム 2023

主催 (一社)日本機械学会
 期日 2023年7月25日(火)
 会場 くにびきメッセ
 ホームページ
<https://www.jsme.or.jp/event/23-14/>
 連絡先 〒162-0814 東京都新宿区新小川町4-1 KDX 飯田橋スクエア2階 (一社)日本機械学会 環境工学部門 環境工学総合シンポジウム2023事務局 [E-mail:kankyosympo2023@jsme.or.jp]

第 35 回バイオメディカル分析科学シンポジウム (BMAS2023)

主催 (公社)日本薬学会物理系薬学部会
 期日 2023年7月28日(金)・29日(土)
 会場 北海道大学学術交流会館
 ホームページ
<https://sites.google.com/view/bmas2023>
 連絡先 〒060-0812 北海道札幌市北区北12条西6丁目 北海道大学大学院薬学研究院生体分析化学研究室 [電話:011-706-3704, FAX:011-706-3767, E-mail:bmas2023@pharm.hokudai.ac.jp]

第 83 回分析化学討論会
—参加登録方法—

標記討論会については以下のように開催いたします。本討論会に参加される方(講演発表される個人会員の登壇者を含みます)は、全員参加登録をお願いします。当日専用受付を設けますので、そちらで参加登録下さい。討論会当日、参加証を提示されない方の入場はご遠慮いただきます。郵送、FAX及び電子メールでの受付は一切行いませんので、必ずアトラス社、Confitによる参加登録システムをご利用ください。なお、現在実行委員会では対面での開催を原則として計画を進めていますが、開催形式等については新型コロナウイルス感染症の状況により、急遽変更となる場合も想定されます。最新の情報や参加登録等の詳細については第83回分析化学討論会ホームページ(以下、討論会HPと略)を必ずご確認ください。また、講演要旨集は討論会HP上で電子配布いたします。

【第83回分析化学討論会ホームページURL】

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsac83touron/top>

主催 (公社)日本分析化学会
 後援 国立大学法人富山大学
 会期 2023年5月20日(土)・21日(日)
 日程 5月20日:主題講演(口頭)、一般講演(口頭、ポスター)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、産業界R&D紹介講演(ポスター)、ランチョンセミナー、懇親会、機器展示会
 5月21日:主題講演(口頭)、一般講演(口頭、ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、ランチョンセミナー、機器展示会
 ※日程は変更する場合があります。
 会場 富山大学五福キャンパス
 懇親会 5月20日(土)18時~20時(予定)

【参加登録方法】

以下の注意事項を熟読の上、参加登録を行ってください。なお、事前登録のお支払最終締切日は4月19日(水)です。

- 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
- 見積書、納品書、請求書は原則として発行いたしません。必要な方は、申込者において書類作成のうえ、返信用封筒(切手貼付)を同封して討論会事務局までお送りください。記名、捺印のみ行き返送します。送付先はメールにてお問い合わせください。

参加登録申込締切日(事前・通常)

事前:4月19日(水)厳守(いずれのお支払方法でも同じです。)

通常:事前登録締切日までに参加登録が完了していない場合は、すべて通常登録扱いになります。

※会期中でも参加登録は可能ですが、必ずご自身のパソコンから登録をお願いします。

参加登録料、懇親会参加料

- 参加登録料
 事前:会員9,000円、学生会員4,000円、非会員18,000円、非会員学生8,500円
 通常:会員12,000円、学生会員5,000円、非会員21,000円、非会員学生9,500円
 ※会員、学生会員の参加登録料は事前・通常ともに不課税扱いです。非会員、非会員学生の参加登録料は事前・通常ともに税込金額です。

2. 懇親会参加料

- 事前:一般(「名誉会員」以外のすべての会員、非会員)10,000円、学生4,000円
 通常:一般12,000円、学生5,000円
 ※懇親会参加料は事前・通常ともに税込金額です。

お支払方法

- 事前:クレジットカードまたは銀行振込
 通常:クレジットカードのみ
 ※お支払方法の詳細については討論会HPをご参照ください。

(ご注意)

※会員には団体会員に所属する方を含みます。維持会員は会員扱いとなります。他の団体会員の場合は、1名に限り会

員扱いとなります。
 ※名誉会員につきましては参加、懇親会ともご招待とさせていただきますが、ご参加の場合は参加登録手続きを行ってください。

【討論会参加登録料等領収書について】

参加登録料等の領収書は、PDFによる発行となります。決済完了後に参加登録システムよりダウンロードできます。

【Web版講演要旨集の閲覧方法】

- ・講演要旨集の閲覧については討論会HPをご参照ください。
- ・スマートフォン等の機器では正しく表示されない場合があります。予めご了承ください。

【講演申込登録をされた皆さまへ】

講演要旨本文提出締切日は3月8日(水)です。講演申込登録をされた方は、締切日までに必ず講演要旨ファイル(A4版1ページ、PDF)のアップロードをお願いいたします。詳細は討論会HPをご参照ください。締切日以降のアップロード・差替えはできません。

【口頭発表者の皆さまへ】

すべての口頭発表会場にプロジェクター、アナログRGBケーブル、PC切替器等を用意します。講演者は講演データの入ったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。詳細は討論会HPをご参照ください。

【ポスター発表者の皆さまへ】

本討論会の一般講演、若手講演、テクノレビュー講演(ポスター)、産業界R&D紹介講演ポスターの発表方法等は、討論会HPをご参照の上、準備ください。

【Web版講演要旨集の発行日について】

第83回分析化学討論会Web版講演要旨集の発行日は、5月8日(月)です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、(公社)日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は討論会HPに3月下旬までに掲載予定です。

【討論主題(主題講演)】

第83回討論会では5件の討論主題を設定します。

1. 生命を観る・測るバイオ分析の最前線
 オーガナイザー：小澤岳昌(東京大学)
2. “Next Gen”化学センシング～次世代化学センシングの方法論・デバイス開発の最前線～
 オーガナイザー：久本秀明(大阪公立大学)
3. 流れ分析法の新展開と社会への貢献
 オーガナイザー：鈴木保任(金沢工業大学)
4. より迅速で、より簡便な分析化学を目指して
 オーガナイザー：菅原一晴(前橋工科大学)
5. 未来の「食」と「薬」を創る分析化学
 オーガナイザー：椎木 弘(大阪公立大学)、
 富永昌人(佐賀大学)

※討論趣旨及び依頼講演は討論会HP上で公開しておりません。

【産業界R&D紹介講演(ポスター)】

主催 (公社)日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会
 趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 5月20日(土)・21日(日)

会場 富山大学五福キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における60分のポスター発表。講演要旨は要旨集に掲載します。

【展示会・企業セミナー・バナー広告・講演プログラム集広告】

機器・カタログ出展およびランチョンセミナー・バナー広告、講演プログラム集(冊子)広告

主催 第83回分析化学討論会実行委員会
 分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、分析技術提供会社との相互交流・情報交換の場として、展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用して企業セミナー(ランチョンセミナー)を開催いたします。

【機器・カタログ展示会】

展示日時 5月20日(土)・21日(日)(ただし、21日は14時までの予定)

会場 富山大学五福キャンパス(ポスター会場)

展示費用 1小間：80,000円(税別)

募集締切日 3月30日(木)

【ランチョンセミナー】

日時 5月20日(土)・21日(日)12時10分～13時

会場 富山大学五福キャンパス(口頭会場)

開催費用 150,000円(税別)

※セミナー運営に関する費用(昼食用弁当など)は別途。

募集締切日 3月30日(木)

【バナー広告】

公開場所 第83回分析化学討論会HP

掲載期間 2023年1月～5月

掲載料金 1枠：1月～5月 50,000円、

3月～5月 30,000円(いずれも税別)

【講演プログラム集(冊子)広告】

発行日 5月20日

掲載料金 A4判白黒1頁 70,000円

A4判白黒1/2頁 40,000円(いずれも税別)

募集締切日 3月30日(木)

問合せ先・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4 友野本社ビル (株)明報社(担当：後藤)〔電話：03-3546-1337, FAX：03-3546-6306, E-mail：info@meihosha.co.jp〕
 ※展示会及びランチョンセミナーの内容は変更になることがございます。詳細は(株)明報社にお問い合わせください。

【宿泊等についてのご注意】

実行委員会では宿泊先等にかかる斡旋は行いません。なお、皆さまの宿泊先についてのアンケートを実施予定ですので、参加受付時にはぜひご協力の程、お願いいたします。

【託児所開設について】

第83回分析化学討論会では、託児所を開設の予定です。詳細は討論会HPをご参照ください。

【その他の会合】

【ものづくり技術交流会 2023 in 中部】

主催 分析イノベーション交流会実行委員会
 日時 5月20日(土)
 会場 富山大学五福キャンパス

【各種お問い合わせ先】

討論会全般に関するご質問は実行委員会までお問い合わせください。
 第83回分析化学討論会実行委員会事務局
 E-mail: 83touron@jsac.jp

「分析化学」年間特集“流”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し2023年は「流」をテーマとすることと致しました。

本特集では「流」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第72巻(2023年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「流」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「流」に関連した分析化学的な基礎・応用に関する論文。例を以下に示します。1) 液体や気体などの流れを利用した分析装置や分析手法の開発・応用、2) 連続的に流れている河川や大気などの分析に関する研究、3) 製造ラインなどの流れの中で利用する分析法の開発・応用、4) 電子の流れを計測する電気分析化学的研究、5) 原子・分子の流れを扱うシミュレーションを活用した分析化学的研究。

特集論文原稿締切: 2023年4月28日(金) (第3期)

初めて書く論文は母語の日本語で！
 “第22回若手研究者の初論文特集”
 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2023年(第72巻)に第22回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業

の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目:「技術紹介」
2. 対象: 以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性: 本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先: 日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail: bunseki@jsac.or.jp]

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することにいたしました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P: 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをご電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さには制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月 25 日（例：1 月号掲載→11 月 25 日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。どうか、本会事務局宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋（共催）

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。
(後援又は協賛)
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

『ぶんせき』再録集 vol. 1 出版のお知らせ

ぶんせき誌の過去記事の有効利用の一環として、記事をまとめて書籍化するという試みを行っています。2021 年 5 月 10 日に、『ぶんせき』再録集 vol. 1 が出版されました。この巻には、2011 年から 2020 年まで、10 年間分の〈ミニファイル〉の記事が詰まっています。たっぷり 256 ページ、2,750 円（税込み）のお値打ち本です。多岐にわたる『知って得する分析化学の豆知識』を堪能できます。本書は下記 10 章からなり、それぞれに 12 から 14 の話題が集められています。

1. 実験器具に用いられる素材の特徴
2. 分析がかかわる資格
3. 顕微鏡と画像データ処理
4. 最新の web 文献検索データベース
5. ポータブル型分析装置

6. 分析化学と材料物性
7. 分析化学者のための多変量解析入門
8. 土壌分析
9. サンプリング
10. 前処理に必要な器具や装置の正しい使用方法

過去のミニファイルをファイリングしておきたいときに、初学者への参考書をお探しのときに、また、非会員の方に分析化学会のアピールをしたいときに、ぜひご利用ください。本書はアマゾンオンデマンド出版サービスを利用して出版した書籍です。書店には並びません。アマゾンサイトからのネット注文のみとなりますので、ご注意ください。ネットで「ぶんせき再録集」と入力して検索しても、すぐに出てきます。詳しくは「ぶんせき」誌ホームページをご確認ください。